

▲洋服にひそむ窒息の危険！

*子どもの服の襟やフード、腰などの「ひも」が滑り台や自転車、ドアノブなどに引っかかって、大きな事故になることがあります。注意しましょう！

*洋服以外にも、カーテンやブラインドの「ひも」が事故につながる場合があります。注意しましょう！

▲家電製品の事故！

テーブルクロス事故！

*ドラム式の洗濯機の中に入ったまま、扉が閉まってしまう事故があります。洗濯機の扉はしめておきましょう。チャイルドロックをかけて、子どもが自分で開けないようにしましょう。縦型洗濯機では水を張ったままに放置しないようにしましょう。子どもが落ちておぼれてしまいます。

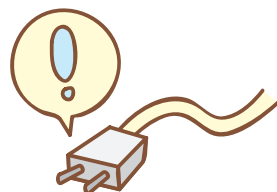
*扇風機の回っている羽の部分に指を入れることができないよう、専用のカバーをかけるようにしましょう。

*テーブルクロスは、子どもが引っ張ることを想定して、引っ張れないように固定するか、使わないようにしましょう。その上に熱いものがあると、頭からかぶってしまいます。

*コンセントには、専用のカバーをして触れないようにしておきましょう。

*ストーブには、周りに柵を置きましょう。

*炊飯器やポットの蒸気の出る部分やアイロンなどは、子どもが触れるような場所で使わないようにしましょう。



▲歯ブラシ、スプーン、はし、棒付き飴の事故！！

歯ブラシや棒付き飴などを、口にくわえたまま(走って)ころんだり尻もちをついたりすると、のどにささったり、口の中を切ったりして危険です。

▲危険な食品！

子どもの食事中は、いつもそばにいて見守るようにしましょう。

*ぐみやこんにゃくゼリーのように弾力性がある、のどに詰まりやすい食品を与えるのは、控えましょう。

*ナッツ類や飴は、3歳以下の子どもには食べさせないようにしましょう。喉につまったり、誤って気道に入ってしまうことがあります。

▲お風呂の事故！！

*子どもを一人で入浴させるのは止めましょう

*子どもが小さいうちは、浴槽の湯は入浴後すぐに抜いて、カラにしましょう。浴室はドアをしめ、鍵をかけるなどして、入れないようにしましょう。

*浴槽で足入れ付浮輪や首浮輪を使わないようにしましょう。

*家庭でのビニールプールでの溺水にも注意しましょう。

▲えっ、こんなことで事故？！

赤ちゃんを抱いたまま、あつい飲み物をのんでいませんか？赤ちゃんにかかったら大変です！赤ちゃんをおろしてからにしましょう！



子どもを守ろう！！



知っていますか？

不慮の事故は子どもの死因のトップクラス！！

0歳	死因の第5位
1～4歳	死因の第2位
5～9歳	死因の第2位

(厚生労働省平成27年人口動態調査)

▲「抱っこひも」からの転落事故！

「抱っこひも」から赤ちゃんが転落する事故が発生しています。重大な事故につながる可能性があります。以下に注意してください。

*バックル類の締め忘れはないですか？

*ウエストベルトは腰骨の上ですか？

*ベルトのゆるみはありませんか？

*抱っこで前かがみになるときは、赤ちゃんを手で支えてください。

*おんぶや抱っこをするときや、赤ちゃんを降ろすときは、低い姿勢でしましょう。



▲子どもを「自動車に乗せるとき」の事故予防

自動車に乗るときは、シートベルトをしましょう。特に、6歳未満の子どもを自動車に乗せるときは、チャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。正しく取り付けてあるかどうか、グラグラしていないか、確認しましょう。また、短時間でも、車に子どもを一人で放置しないでください。



▲ベビーカーからの転落事故予防

立ち上がったたりして転落することがあります。

*ベビーカーのベルトは、きっちり締めましょう。

*短時間でも、子どもをベビーカーに乗せたまま、その場を離れるのは止めましょう！

*ショッピングカートも注意！！

▲「薬、タバコ、化粧品、洗剤、電池など」の事故！

赤ちゃんや子どもは何でも口に入れたがります。直径39mm以下のものは、誤飲や窒息の原因になります。

*子どもが口にいれると危険なものは、子どもの手が届かないよう、高さ1m以上の場所におきましょう。

*引き出しにしまうときは、容器に保管し鍵をかけましょう。



▲ふかふか布団は危険!! うつぶせ寝はやめよう! 添い寝も注意!

赤ちゃんや小さい子どもは、自分の頭を自由に上げたり、顔にかかったものを簡単に取り取ることができません。

*うつぶせ寝は避けましょう!

*添い寝をしたまま、おとなが寝込まないよう注意しましょう。

*子どもが寝ている上に物をつるさないようにしましょう。

*布団は固めのものを使いましょう。

*子どもの近くに口をおおうような物をおかないようにしましょう。ぬいぐるみも注意です。

*布団カバーは、子どもが中にもぐりこめない形状のものにしましょう。



電話連絡先

救急車 119

小児救急相談 #8000 (プッシュ回線、携帯電話)

東京都(ダイヤル回線 公衆電話など全ての電話)

03-5285-8898

●平日(月～金曜): 18時～23時

●土曜・日曜・祝日: 9時～23時



東京消防庁救急相談センター(毎日24時間)

#7119(プッシュ回線、携帯電話)

23区内: 03-3212-2323

多摩地区: 042-521-2323



かかりつけ小児科

☎()

危険がいっぱい! 家庭内、道路、駐車場の事故が6割!

0～1歳

①転落(ソファ、ベッド)、②窒息(寝具)、③誤飲(タバコ)、④やけど(アイロン、ストーブ他)、⑤溺水(浴槽)、⑥転落(階段) ⑦切り傷(かみそり)、⑧窒息(ビニール)

1～2歳

①転落(階段、ベビーチェア)、②溺水(浴槽)、③誤飲(タバコ、薬品)、④やけど(食事、ストーブ)、⑤交通事故(自動車同乗中)

3～6歳

①やけど(火遊び)、②転落(ランダ、すべり台)、③転倒(歯みがき)、④交通事故(自動車同乗中、歩行中、道路遊び)、⑤溺水(川、池、プール)

(参考) 年齢別に多い事故(厚生労働省ホームページから)